

岡田啓介 海軍を代表して首相になるも、<二・二六事件>で襲撃され総辞職、のち東条内閣倒壊工作の中心に。

おかげいすけ

明治維新・1868 = 福井で福井藩士岡田喜藤太の長男に生まれる。禄高百石で、父は戊辰戦争で藩の農兵指揮をつとめた。

明治6年政変 1873 = 5歳 :

西南戦争・1877 = 9歳 :

明治14年政変 1881 = 13歳 :

帝国大学始 1886 = 18歳 :

帝国憲法発布 1889 = 21歳 : **海軍兵学校(15期)卒業** ,

以後水雷術を専攻。

日清戦争始・1894 = 26歳 : **<日清戦争>**に少尉で出征、東郷平八郎指揮の浪速に乗り組み、豊島沖海戦・高陞号撃沈事件などに参加。

日清戦争終・1895 = 27歳 :

田中正造直訴 1901 = 33歳 : **海軍大学校甲種卒業**。

日露戦争始・1904 = 36歳 : **<日露戦争>**では、{春日}副長として日本海海戦に従軍。

日露戦争終・1905 = 37歳 :

その後、海軍犬学校教官・水雷学校長・春日艦長・鹿島艦長などを歴任。

明治天皇没・1912 = 44歳 :

大正政変・1913 = 45歳 : **少将に任ぜられ** ,

21ヶ条要求 1915 = 47歳 : 海軍省人事局長 ,

ロシア革命・1917 = 49歳 : 中将 ,

本格政党内閣 1918 = 50歳 : 海軍省艦政局長 ,

大暴落・1920 = 52歳 : 海軍艦政本部長 ,

原敬首相暗殺 1921 = 53歳 :

水平社結成 1922 = 54歳 :

関東大震災・1923 = 55歳 : **海軍次官** ,

護憲三派圧勝 1924 = 56歳 : **海軍大将・軍事参議官**となり ,

治安維持法 1925 = 57歳 : **第1艦隊長官兼連合艦隊長官** ,

円本時代始 1926 = 58歳 : **横須賀鎮守府司令長官**に補され ,

金融恐慌・1927 = 59歳 : **田中義一内閣の海軍大臣**となる。この時、臨時艦船建造部を組織、造船会社を軍管理下に置いて、金融恐慌で苦しむ造船業界を救済した逸話は有名である。

世界恐慌・1929 = 61歳 : **大臣を辞任し、再び軍事参議官**となり ,

海軍軍縮条約 1930 = 62歳 : **ロンドン海軍軍縮条約の締結に際し、海軍内の条約調印反対派と推進派を調停、条約調印にこぎつける。**

満州事変・1931 = 63歳 :

五一五事件 1932 = 64歳 : **齋藤実内閣成立で再び海軍大臣、かねて交友のあった森格を通して対政友会工作を行い、絶対多数を持つ政友会を抑制して中間内閣の弱点を補強する大きな役割を果たす。この間、政・財界との接触を深め、**

国際連盟脱退 1933 = 65歳 : **大臣を辞任し、予備役に編入**となるが ,

帝人疑獄事件 1934 = 66歳 : ***元老西園寺公望の信任をえて首相となり、拓務大臣を兼務。内閣は官僚的色彩を強め、在満機構改組問題・天皇機関説問題・日本の華北進出・日本の海軍軍縮条約廃棄など難問をかかえ、漸進的な国内体制のファシヨ化を進めたが、非常時局の掛け声のもとに安定を欠く世相の鎮静に努めたため、革新右翼の側から現状維持派の政権であるとして激しい攻撃を受け、**

***二・二六事件で、官邸を襲撃されたが奇蹟的に殺害を免れ、憲兵らによって救出されるも、内閣総辞職。**

日中戦争始・1937 = 69歳 : 前官礼遇の沙汰があり、**重臣の列に加わる。**

大政翼賛会 1940 = 72歳 :

日米開戦・1941 = 73歳 : **日米交渉が行き詰まって、対米開戦か非戦かで政府内が動揺すると、及川古志郎海軍大臣をして、海軍は対米戦に自信のない旨を発言させて陸軍側の強硬論を押しやうと試みるが、結局失敗し、**

創価学会検挙 1943 = 75歳 : **以降戦局収拾のため、東条英機首相を退陣させることに努力し、**

年金+総武装 1944 = 76歳 : **重臣らの申し合わせて、東条内閣を総辞職させることに成功。天皇制存続のための和平工作を画策。**

敗戦・1945 = 77歳 : ***鈴木貫太郎内閣には、女婿の迫水久常を書記官長として送り込み、全面的に協力、影響力を行使した。**

三大事件・1949 = 81歳 :

メデー事件 1952 = 84歳 : **没した。**